

# 困ったら組合に相談

## 文京区再開発現場で昼宣伝

7月22日、東京土建は都心 園駅前地区再開発現場（北街部連携協議会（以下、協議会）の行動として本部、文京区・清水建設、南街区・大成建設）において宣伝を行いました。京、台東、新宿、渋谷、港支ました。部の総勢18人で、春日・後楽 行動開始前に、石川信一本



スピーチに聞き入る集会参加者

部副委員長は、「コロナ禍のなか、現場では声を上げられない仲間、困っている仲間はまだまだいる。8月2日に予定する建設工事従事者ホット

ラインのことを知らせよう」と意思統一しました。労働者に麦茶とティッシュを配りながら、賃金や現場内のコロナ対策を聞く「ずばッとアンケート」も実施しました。

7月15日に、日本郵政ビル本社改修工事現場（元請・大成建設）で宣伝とずばッとアンケートを行なう仲間

宮本書記長が今年度の運動の重点として、コロナウイルスの感染防止と生活補償の要求、国保補助金算確保、建設キャリアアップシステム登録の拡充、アスベスト最高裁闘争勝利、賃金単価の引き上げ、公契約条例制定、災害対策の取り組み、平和と民主主義を訴え、すべての議案と決算採択し、団結がねばるうで終了しました。新役員は次の皆さんです。

委員長・菅原良和（建設ユニオン）、副委員長・月居利久（東京建設）、木賀聖司（東建）、松本久人（東京土建）、書記長・宮本英典（東建産）、書記次長・堀井晶（東京建設）。

## 感染防止と補償要求

### 東京都連が60回大会開く

【本部・書記・中村敬記】全建連東京都連合会は7月17日、代々木の全理連ビルにおいて、新型コロナウィルス感染防止のため、参加規模の縮小、開催時間の短縮による、第60回定期大会を開催しました。菅原良和委員長の挨拶後、来賓のメッセージ紹介、全建連連勝野書記長の中央情勢報告を受けました。

委員長・菅原良和（建設ユニオン）、副委員長・月居利久（東京建設）、木賀聖司（東建）、松本久人（東京土建）、書記長・宮本英典（東建産）、書記次長・堀井晶（東京建設）。

## 人命第一の政治を

### 議員会館前で月例の行動

梅雨の晴れ間の日曜日の午後、国会議員会館前で月例の戦争させない、9条壊すな総がかり行動が行なわれ、900人の市民が結集しました。

主催者代表の1000人委員会の藤本泰成さんは、7月3日以降の全国各地での豪雨

災害に触れ、気候変動の原因になってCO2排出で安しう批判しました。国会から

の対応や河井議員夫妻の参院選買収事件の解明などため国会開会を訴えました。辺野古基地建設反対でたかひ沖縄県民、選挙民への買収問題で経産大臣を辞任した菅原一秀議員を追及する練馬の住民のスピーチの後、8月の集会などの行動提起を確認し、集会を終了しました。

## 都議に国保賛同署名求める

### 葛飾

【葛飾・小藤隆之通信】2021年都費補助金の現行水準確保のために、6月23日、葛飾選出の都議会議員への要請行動を阿久津正社保対部長と小藤隆之の要請書を届けることになりました。また、同

## 舟坂都議も快諾

### 地元国会議員に要請書

【葛飾・小藤隆之通信】2021年都費補助金の現行水準確保のために、6月23日、葛飾選出の都議会議員への要請行動を阿久津正社保対部長と小藤隆之の要請書を届けることになりました。また、同

突然の訪問にもかかわらず、その場で賛同署名に快く承諾いただき、署名・捺印をいただくことができました。米川大二郎議員（都D）、のがみ純子議員（公明）、和泉尚美議員（共産）は不在でしたが、賛同の要請書を届けることができました。また、同

がコロナ対策で例年より縮小した形で開催されました。高木典男書記長、平山和雄副委員長による議案提案を全体の拍手で承認しました。新しい委員長には、東京土建本部で副委員長をつとめていた佐藤義見さん、東京土建からは副委員長に唐澤一喜、会計監査に江成道宏さんが就任しました。

## 今月の主張

### 安定した雇用を求め

7月17日、政府は「危機の克服、そして新しい未来へ」を副題とした2020年の「経済財政運営と改革の基本方針」（骨太方針）を閣議決定しました。新型コロナウィルス感染症拡大で顕在化した課題を克服した後の経済社会を、「新たな日常」を通じて質の高い経済社会としていくことを目指すとした。そして「新たな日常」の実現のために、デジタル・

ガバメントの推進とデジタルニューディールによって、社会全体・経済全体をデジタル化していくと述べています。働き方改革では、感染症への対応

柔軟な働き方を選択できるように環境を整備する。ジョブ型正社員の更なる普及・促進に向けた雇用ルールの明確化や支援の取り組み、企業側でも成果型の弾力的な労働時間管理

賃金を低く抑え、解雇を容易にすることも可能な制度です。また裁量労働制は実労働時間の把握が難しく、長時間労働の温床となっています。骨太方針での働き方改革では生産性向上に向けた好循環をつくること

や処遇ができるよう、裁量労働制に ついて検討を行なうとしました。しかし、ジョブ型正社員は職務や勤務場所、勤務時間が限定された働き方を選択できる雇用形態ですが、

やリストラフ、非正規雇用の増大が懸念されており、求められているのは安定した雇用です。国民、労働者に寄り添った政策が必要になってい

を、今年「東京土建の都政要望」及びコロナ対策を含めて、都知事選挙の前に行なうべき、との伊藤委員長の声掛けで、先方の都合が合えば、急いで取り組もうということになりました。6月25日古城将夫都議（都議会公明党）、6月25日大山とも子都議（日本共産党都議団）、6月30日秋田一郎都議（都議会自由民主党）、7月6日森口つかさ都議（都民ファーストの会）全4都議に要請しました。

### 新宿

## 都知事選に合わせて 全員と要請、懇談



古城都議（右）に要請する伊藤委員長

【新宿・書記・角谷美樹記】新宿支部では、6月中旬執提案を受けて、例年の建設国保都費補助の要請行動

古城都議から国が第2次補正予算で新設する「家賃支援給付金」に対して東京都として独自に上乘せを行なうという情報をいただきました。大山都議からは賛同署名のメッセージ欄に「東京都でも公契約条例を制定できるように、がんばりましょう」と記入いただきました。森口都議からは「コロナが新宿で感染者が増えている件について、きちんと対策をとって営業されているお店にも影響が出てきている旨を伺いました。」